

AFICAT | 農業に貢献するゴム企業

・ 日・アフリカ農業イノベーションセンター (AFICAT) ・

農業の機械化を 日・アフリカの官民連携で推進

12月17日(火)には情報交換会も開催予定

日・アフリカ農業イノベーションセンター (AFICAT) は、サブサハラアフリカにおける先進農業技術の導入や、農業の機械化を日・アフリカの官民連携で推進する、国際協力機構 (JICA) の枠組み。2022年2月からコメに関連する農業機械を中心に、タンザニア、ケニア、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリアの5か国で、AFICATを順次展開させており、先進農業技術の導入を後押ししている。

AFICATはサブサハラアフリカ諸国でビジネス展開を検討している日本の農業関連企業を対象に、「広域アドバイス」、「展示、実証、デモンストレーション」、「ビジネスモデル／バリューチェーンの実証・検証」、「金融」、「イノベーション・ラボ」、「広報」、「人材育成」の7つの機能を通じた支援を提供することで、サブサハラアフリカにおける先進農業技術の導入促進を図っている。

「広域アドバイス」では、現地情報や農業機械化に関する技術的なアドバイスなどを提供。「展示、実証、デモンストレーション」では、日本の企業による製品の展示やセミナーの開催、圃場での実証、デモの実施を支援する。「ビジネスモデル／バリューチェーンの実証・検証」では、製品を地元企業や農民組合に貸し出し、ビジネスモデルの実証などを支援する。「金融」では、農業資機材購入に関する金融サービスの情報を収集し日本の企業に提供する。「イノベ

ション・ラボ」では、企業や研究機関による研究開発の場の提供、新技術適用の可能性、既存製品の適地適合性、現地製造の可能性の検証を支援。「広報」では、実証やデモの結果の外部発信や、アフリカの市場に関する情報発信を行う。「人材育成」では、農業、農業機械化政策、農機の操作やメンテナンスなどに関する幅広い人材育成を目指している。

定期的な情報交換会も開催しており、12月17日(火)には「第4回情報交換会コートジボワール／セネガル編」をハイブリッド形式で開催予定。JICA国際協力専門員やデロイトトーマツグループ社員を講師に招き、コートジボワールとセネガルにおける農業セクターの現状や課題、現地ニーズなどを紹介する。

詳細はQRコードから閲覧可能▶

